

公民館は昭和57年の開館以来今年で35年になり、11月には35周年記念行事も計画されています。私は公民館から徒歩5分程の所に住んで、約35年になり、7月に開催した地域の祭りも第36回目となりました。市内には250年を超える祭りもありますが、私の地域の祭りなどを書いてみたいと思います。

開催時期は7月の20日頃で、梅雨明け時期と重なるため、天候が最大のリスクです。安全のため、雷注意報が出たら子供達のパレードは中止、公園のトイレが詰まった等、祭典委員会は判断や予期せぬ出来事に対応に追われます。5月連休明けより打合せと準備を開始しますが、時には熱い議論も行います。今年実際にあったエピソードです。浴衣姿の女の子が本部テナントに来て、模擬店の皆さんにお手紙を書いたので届けたいと言っています。話を聞くと、皆さんが頑張っている姿に感動したので、感謝の気持ちを伝えたい。そしていつか自分も模擬店に参加して、頑張りたいと話してくれました。後で小学校三年生と分かりましたが、このような



公民館のトイレが詰まった等、祭典委員会は判断や予期せぬ出来事に対応に追われます。5月連休明けより打合せと準備を開始しますが、時には熱い議論も行います。今年実際にあったエピソードです。浴衣姿の女の子が本部テナントに来て、模擬店の皆さんにお手紙を書いたので届けたいと言っています。話を聞くと、皆さんが頑張っている姿に感動したので、感謝の気持ちを伝えたい。そしていつか自分も模擬店に参加して、頑張りたいと話してくれました。後で小学校三年生と分かりましたが、このような

子が居るからまた来年も、そして女の子が中学生になって模擬店の手伝いが出来るまで、自分も頑張らねばと思うのです。公民館も「生涯学習」や「文化活動」の拠点として、多様化する市民ニーズを先取りしながら、次の世代に繋いでいく点では祭りと相通じるものがあると感じます。

公民館運営審議会 活動報告

公民館運営審議会委員 横山 四郎

7月と8月の公民館運営審議会内容は、次のとおりです。

7月と8月の公民館運営審議会内容は、次のとおりです。

◆7月14日(金)

都公連担当委員より9月2日の委員部会研修及び来年、2月3日に開催される都公連研究大会について報告がありました。また、公民館開館35周年記念事業の内容等について説明がありました。

◆8月17日(木) 事務局より委員部会研修会

公民館は学びや活動の場として、また、地域課題に取り組む拠点として、コミュニティづくりの重要な役割を担ってまいりました。しかし、時代の変遷とともに、その役割や今後のあり方が問われています。そうした中で、今回は、「公民館の役割とは」をテーマに永田浩二さん(武蔵大学教授)による講演会を開催しました。元NHKプロデューサーとして「クローズアップ現代」等に携わり、放送業界での切り口はとて好評でした。

公民館は学びや活動の場として、また、地域課題に取り組む拠点として、コミュニティづくりの重要な役割を担ってまいりました。しかし、時代の変遷とともに、その役割や今後のあり方が問われています。そうした中で、今回は、「公民館の役割とは」をテーマに永田浩二さん(武蔵大学教授)による講演会を開催しました。元NHKプロデューサーとして「クローズアップ現代」等に携わり、放送業界での切り口はとて好評でした。

公民館は学びや活動の場として、また、地域課題に取り組む拠点として、コミュニティづくりの重要な役割を担ってまいりました。しかし、時代の変遷とともに、その役割や今後のあり方が問われています。そうした中で、今回は、「公民館の役割とは」をテーマに永田浩二さん(武蔵大学教授)による講演会を開催しました。元NHKプロデューサーとして「クローズアップ現代」等に携わり、放送業界での切り口はとて好評でした。

公民館利用者連絡会 けいじばん

公民館は今年開館35周年を迎えます。そこで、公利連は公民館と協力して、この35周年を記念する事業を有意義なものにしたいと、公民館、公民館運営審議会、そして公利連の三者で事業の企画を計画いたしました。

公民館は今年開館35周年を迎えます。そこで、公利連は公民館と協力して、この35周年を記念する事業を有意義なものにしたいと、公民館、公民館運営審議会、そして公利連の三者で事業の企画を計画いたしました。

- ① 記念式典
- ② 記念講演(公民館のこれまでとこれから) 講師 佐藤一子さん(東京大学名誉教授)
- ③ アトラクション
- ④ パネルディスカッション(公民館のこれまでとこれから) コーディネーター・大串隆吉さん(公民館運営審議会会長)
- ⑤ 公民館の歩みと団体紹介パネル展
- ⑥ 記念誌の発行 等々です。

市民大学フォーラム 公開講座

「昭島の歴史をたどる」

身近な地域の歴史を知ること、昭島への親しみや愛着を持つ事ができます。この機会に郷土の歴史に関心を深めてみませんか。

- ◆日時 12月9日、平成30年1月13日、2月10日、3月10日(いずれも土曜日/全4回)
- ◆日程が変更になる場合があります。
- ◆場所 公民館3階学習会議室
- ◆対象 市内在住・在勤・在学の方
- ◆講師 和田哲さん(昭島市文化財保護審議会会長ほか)
- ◆定員 50人(申込順)
- ◆参加費 無料
- ◆企画運営市民大学フォーラム
- ◆申込 11月16日(木)から公民館へ

公利連へのご参加を！
なお、まだ公民館利用者連絡会に参加されていない団体やサークルの参加方を呼び掛けています。参加いただければ幸いです。
(代表・山崎)



9月1日より公民館出入口に回収ボックスを設置していただきますよう協力ください。回収にご協力ください。たいします。

「古着・古布」
「インクカートリッジ」
回収ボックスの設置

公民館からの
お知らせ

公民館利用申請受付開始日(抽選日)等のご案内

公民館

公民館登録団体の申込み

施設区分	利用月	受付期間	抽選日	確定期間	調整会議	随時申込み
小ホール	平成30年 4月分	11/1~10	11/11	11/11~20	11/25	予約システムでの申込み、変更、取消しは、利用日の7日前まで。その後は窓口で。
小ホール	平成30年 1月分	10/1~10	10/11	10/11~20	10/21	
以外	平成30年 2月分	11/1~10	11/11	11/11~20	11/25	

※小ホール・集会室・音楽室は改修工事のため、12月から3月の間は使用できません。

※公民館未登録団体の申込みについては、公民館までお問い合わせください。

抽選申込みの注意

公民館登録団体は公共施設予約システムで抽選申し込みができます。

★当選した団体は上の確定期間内にシステムで確定をしてください(確定しないと予約が無効になりますのでご注意ください)。

★落選した団体は、随時申込みが始まる前に、「調整会議」で再度空いている会議室等の申し込みができます。10月、11月の調整会議は公民館第1会議室で午前10時から行います。

※登録団体以外の団体の予約方法についてはお問い合わせください。

公民館利用区分	
午前	午前9時~正午
午後1	午後1時~4時
午後2	午後4時~7時
夜間	午後7時~10時

展示室・陶芸窯・暗室・保育室の施設予約は、公民館登録団体が使用する場合、利用月の3ヶ月前の調整会議で申込みができます。調整会議後は公民館の窓口で利用日の2ヶ月前の月の初日から申込みができます。なお、保育室は会議室等が予約されている場合に限り(単独での使用はできません)。

★空き状況は、団体登録の有無にかかわらず「昭島市公共施設予約システム」で確認できます(公民館、市立会館をはじめ市の公共施設に備え付けの端末機のほか、昭島市ホームページ「施設予約」からもご覧いただけます)。

★「昭島市公共施設予約システム」で予約を行う場合は、「予約申込/予約一覧」画面で利用目的・利用人数を入力してください(小ホールで発表会等を行う場合は、舞台担当者との打ち合わせが必要になりますので事前に連絡をお願いします)。

公民館小ホールの特例的利用制度について

小ホールの利用は、公民館登録団体は5ヶ月前からの抽選申込みとなっていますが、次のような利用については、6ヶ月前から申請することができます。

◆公民館登録団体が日頃の活動の成果を発表する事業(発表会)

◆利用可能団体数 1ヶ月1団体 ◆利用可能区分数 午前から夜間のうち3区分以内

◆利用回数 1団体年1回

◆申請日 利用希望日の6ヶ月前の月の1日から7日まで(休館日を除く)の午前9時から午後5時の間

※10月1日(平成30年4月分)から申請の再開をします。

☆同月開催の公民館運営審議会で決定します。詳しくは、公民館までお問い合わせください。